

COVID-19 のパンデミックを経験して これからの検査室に期待すること

◎忽那 賢志¹⁾

大阪大学大学院医学系研究科 感染制御医学講座¹⁾

新型コロナウイルス感染症の流行によって「検査」が一般に知れ渡ることになった。今や「PCR」や「抗原」といった言葉は、日常的に非医療従事者の間でも使われるものとなっている。臨床検査技師の感染症診療・感染対策における立ち位置もこれまで以上に注目されている。一方で、陽性/陰性という結果が患者に与える影響もかつてなく大きくなっている。精度管理、検査フローの体制整備、人材育成など次のパンデミックに向けての課題もある。感染症専門医が考える、臨床検査技師に期待することについて述べたい。

連絡先- 09011918808